

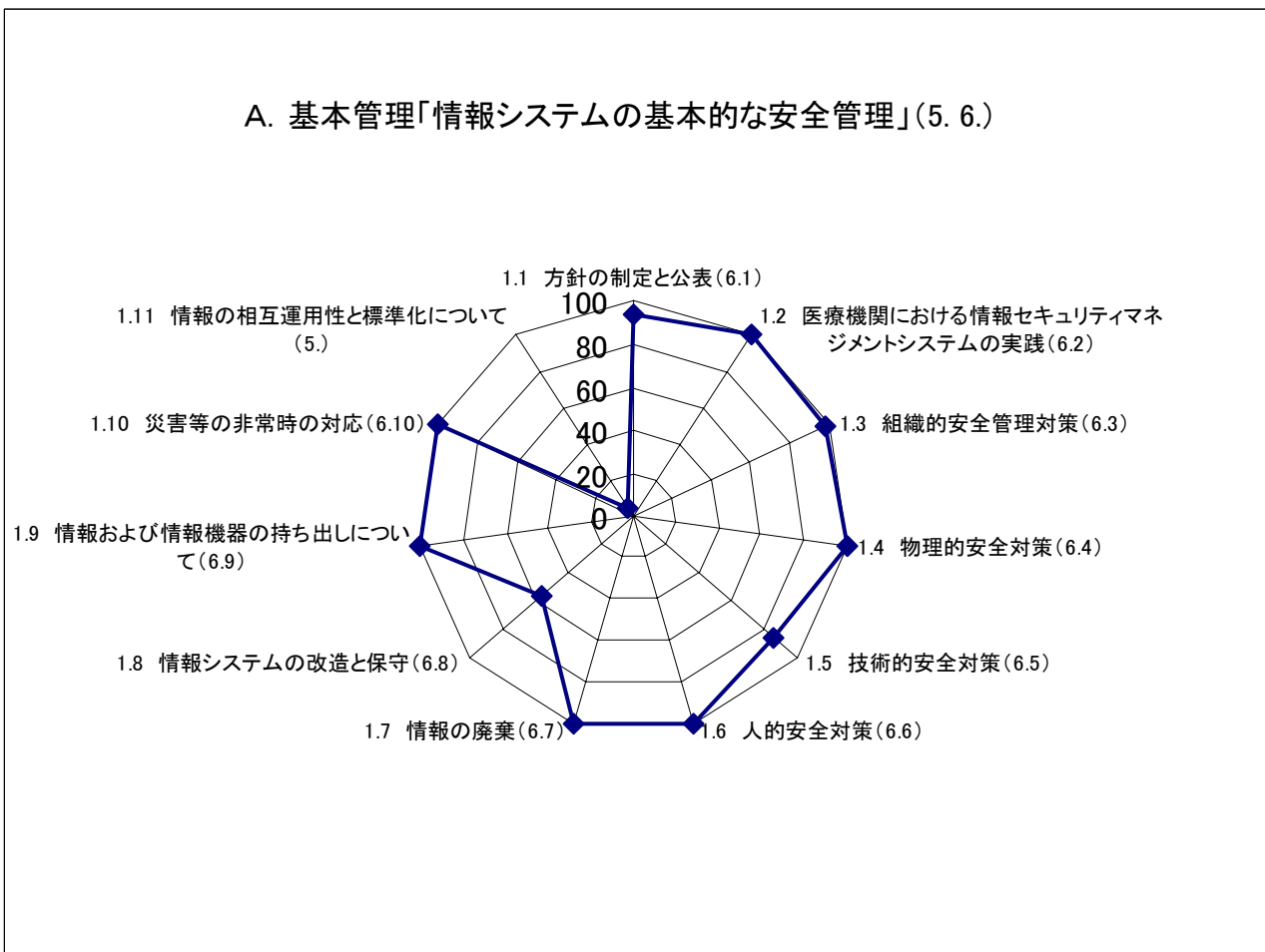
■ 認定証

認定番号：SSA-002a1-20100223  
適用指針：「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」第4版  
事業者名：国立循環器病センター  
代表者名：橋本信夫（総長）  
評価対象：病院情報システム  
認定条件：認定証附属書 SSA-002a1-20100223-1 による  
認定日：平成22年2月23日  
レベル：A

■ 認定証附属書

附属書番号：SSA-002a1-20100223-1  
事業所：国立循環器病センター病院(大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号)  
運用責任者：友池 仁暢（院長）  
システム管理者：奥田 隆（運営局調査課長）  
適用管理：A. 基本管理  
評価対象：病院情報システム  
基幹システム：OrderingAD (NEC)  
評価範囲：オーダーリングシステム、医事会計システム、看護支援システム、DWHシステム、放射線部門システム、PACS（静止画像）、PACS（動画配信）、検体検査システム、細菌検査システム、輸血部門システム、病理部門システム  
認定日：平成22年2月23日

■ レーダーチャート



## PREMISs 評価レポートの見方

### ■認定証：認定証の内容を示す

認定番号：識別（英3）＋施設（数3）＋システム（英1）＋更新回数（数1）＋認定日（数8）

識別コード：英字3文字 SSA SSB SBC SSC（運用管理の組み合わせ A, AB, ABC, AC）

施設コード：数字3桁（開始001、永久番号）

システムコード：英字1桁（開始a）、システム変更毎に変わる

更新回数：数字1桁（開始1）、システム毎の評価回数

認定日：数字8桁

適用指針：準拠した安全管理GLのバージョン

事業者名：施設の正式名称

代表者名：法人の長または病院長名

評価対象：認定したシステム全体の名称

認定条件：認定附属書番号

認定日：評価委員会での合格日

レベル：対応レベル 以下の3段階。

A：必要十分な安全管理を実施し、説明責任を十分に果たしている

AA：上記に加え、管理責任、改善を行う責任を十分に果たしている

AAA：上記に加え、事後責任を十分に果たしうる状態にあり、現状で最高レベルの安全管理措置（組織的、技術的）を実施している

※AAA以上はマネジメントシステムが機能していることが求められるが、マネジメントシステムや運用ルールを根付かせるには時間が必要なため、施設も制度も円熟しないと達成できない。従って当面は、Aが最高ランク。

### ■認定証附属書

附属書番号：認定番号-1

事業所：事業所の名称と所在地

運用責任者：安全管理GLの求める運用責任者の氏名（役職）

システム管理者：安全管理GLの求めるシステム管理者の氏名（役職）

適用管理：適用管理対象を表記 A. 基本管理 B. 電子保存 C. 外部保存

評価対象：認定したシステム全体の名称

基幹システム：基幹システムの商品名、バージョン（ベンダー名称）

評価範囲：以下の観点で決めた評価範囲システム名称を列記する

①医療情報を直接取り扱う

②安全管理GLで求める安全管理対策を実施

③病院が管理権限を持っているシステム

認定日：評価委員会での合格日

### ■レーダーチャート

レーダーチャートは、自己評価ファイルの中項目（2桁項番）毎の最終評点を、中項目毎に表示している。レーダーチャートにより安全管理対策のバランスに偏りが無いか確認できる。

\*評価は、大項目（1桁項番）、中項目（2桁項番）、小項目（3桁項番）に分け評価する。原則として各評点は+1桁項番の評点を合計し、設問数で割った値を各評点とする。つまり、小項目の評点は、小項目中の評点（4桁項番）を合計し、小項目中の設問数で割る。中項目の評点は、小項目（3桁項番）の評点を合計し、小項目の設問数の合計で割る。大項目の評点は、中項目の評点を合計し、中項目の設問数で割ったものである。評点は、原則として評価区分毎の達成率（充足率）を表示するが、各設問には重要度に応じて重みが付けられているので、単純な達成率ではない。

以上